



## 子供たちに身に付けさせたいこと

「中央教育審議会 教育課程部会 次期学習指導要領に向けた審議のまとめ(平成28年8月26日)」から  
教務主幹 中野 智美

平成32年度の学習指導要領改訂に向けての審議が大詰めを迎え、もうすぐ発表されると聞いています。それに伴い、最近たくさんの言葉(仕事柄気になってしまうからなのかもしれませんが)が報道されています。思いつくままにあげてみると・・・

特別の教科 道徳

キャリア教育

オリンピック・パラリンピック教育

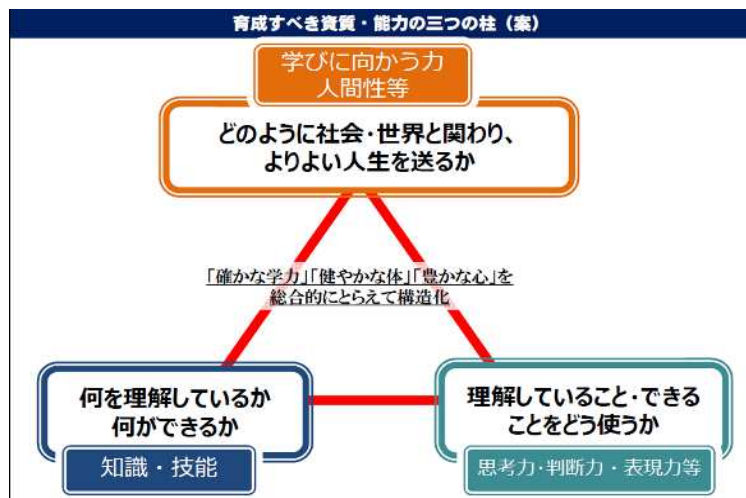
3年生から始まる外国語活動

アクティブラーニング

プログラミング教育

などなど。

「今でもたくさんやることがあるのに、もっとたくさんのが要求されてしまうのか。今の子供たちって大変だなあ。」と率直な感想をもちます。ニュースのみの情報だと言葉がクローズアップされてしまうのですが、上記「審議のまとめ」を詳しく調べてみると、下のような図を見付けることができました。未来に生きる子供たちのために、育成すべき資質・能力について、簡単に表したものです。私は、三つの柱それぞれが、これからの社会でたくましく生きていくために大切だと思います。



最初に挙げた様々な言葉は、三つの柱が根底にあるということを考えると、とらえ方が変わってくると思います。それらをできるようにしたり、身に付けたりすることが目的ではなく、三つの柱を育むためのものだということです。そして、この三つの柱は学校のみで育むのではなく、家庭や地域も手を取り合って育んでいくことで、さらに大きく成長させられるものだと思います。「社会に開かれた教育課程」と言われる所以がここにあるのでしょうか。

さて、三つの柱のうち「学びに向かう力・人間性等」を育むためには、体や心のコンディションが安定していることが不可欠です。ですから、日々の小さな積み重ねが大切なのではないかと思います。例えば

バランスのとれた食事をとること

睡眠時間を十分に取ること

思う存分体を動かして遊ぶこと

自分が言いたいことを受け止めてもらえること

失敗をやり直すチャンスが保証されること

自分ががんばったことをきちんと認められること

楽しいことやうれしいことを共有できること

などなど。

今日からできることを、少しずつ。一緒に始めていきましょう！！